

令和元年度 慢性腎臓病(CKD)診療連携構築 モデル事業 報告

岐阜県健康福祉部保健医療課健康推進室

岐阜県の概要

地域の状況（平成30年度）

人口	1,999,406人
高齢化率	29.6%
透析患者数	5,096人
人口100万人当たり	2,552人



CKD対策事業の背景

- ◆岐阜県の透析患者数は年々微増しており、新規透析導入者も横ばいで推移している。新規透析導入者のうち糖尿病性腎症の割合は41.2%と、その半数は糖尿病以外が原因となっており、糖尿病のみでなく広くCKD対策を推進する必要がある。
- ◆特定健診では血清クレアチニンの測定が必須項目でなく、ステージに応じた保健指導体制が整備が進まない現状もある。
- ◆医療連携では、平成24年度に岐阜県CKD医療連携マニュアルや岐阜県CKD医療連携パスを作成し、かかりつけ医と腎臓病専門医の連携体制の構築を進め、一定の理解は得られているが十分ではなく、より一層の連携推進が必要である。

CKD対策事業の目標

- 年間新規透析患者数の減少（2023年：585人以下、2028年：554人以下）
- 糖尿病対策等と連携したCKD重症化予防の推進
- 国民健康保険組合以外の健診体制の構築

特定健診・特定保健指導と健康日本21（第二次）

～特定健診・保健指導のメリットを活かし、健康日本21（第二次）を着実に推進～

特定健診・特定保健指導の実施率の向上

一人当たり医療費・介護費（入院）

	岐阜県	全国差	全国平均
医療費	16位 30万5千円	--	30万5千円
国保組合+被用者保険	43位 16万円	990円	15万9千円
国保	36位 35万7千円	8千円	34万9千円
後期	36位 84万円	-7万2千円	91万2千円
介護費	37位 29万8千円	-6千円	30万5千円

H29都道府県データブック、H29介護保険者事業報告

- 重症化が予防できる
- 医療費の伸びを抑制できる

データの分析

未受診者への
受診勧奨

健康格差の縮小

特定健診等の実施率

	岐阜県	全国
特定健診受診率	23位 50.1%	51.4%
特定保健指導実施率	11位 25.1%	18.8%

医療費適正化計画データ（H28）

医療費適正化計画データ（H28）

- 重症化が予防できる
- 死亡が回避できる

短期目標

メタリックシンドローム
該当者・予備群の減少

24.0% 47位

高血圧の改善
収縮期血圧140mmHg以上

17.4% 28位

脂質異常症の減少
中性脂肪150mg/dℓ以上

17.4% 23位

糖尿病有病者の
増加の抑制

HbA1c6.5以上 6.2% 44位
HbA1c8.4以上 0.8% 44位

NDBデータ（H28）

血管内皮機能の改善

医療件数：（脳梗塞）約13万件/年
一人当たり医療費6,665円（35位）

脳血管疾患

死亡率の減少

男性 35.6% 34位
女性 19.8% 31位

医療件数：約18万件/年
一人当たり医療費7,314円（7位）

虚血性心疾患

死亡率の減少

男性 30.6% 20位
女性 11.2% 19位

医療件数：約6万件/年
一人当たり医療費11,208円（16位）

糖尿病性腎症による 新規透析導入者の減少

252人 27位
新規透析導入 307人 27位

都道府県データブック
（平成29年度診療分）

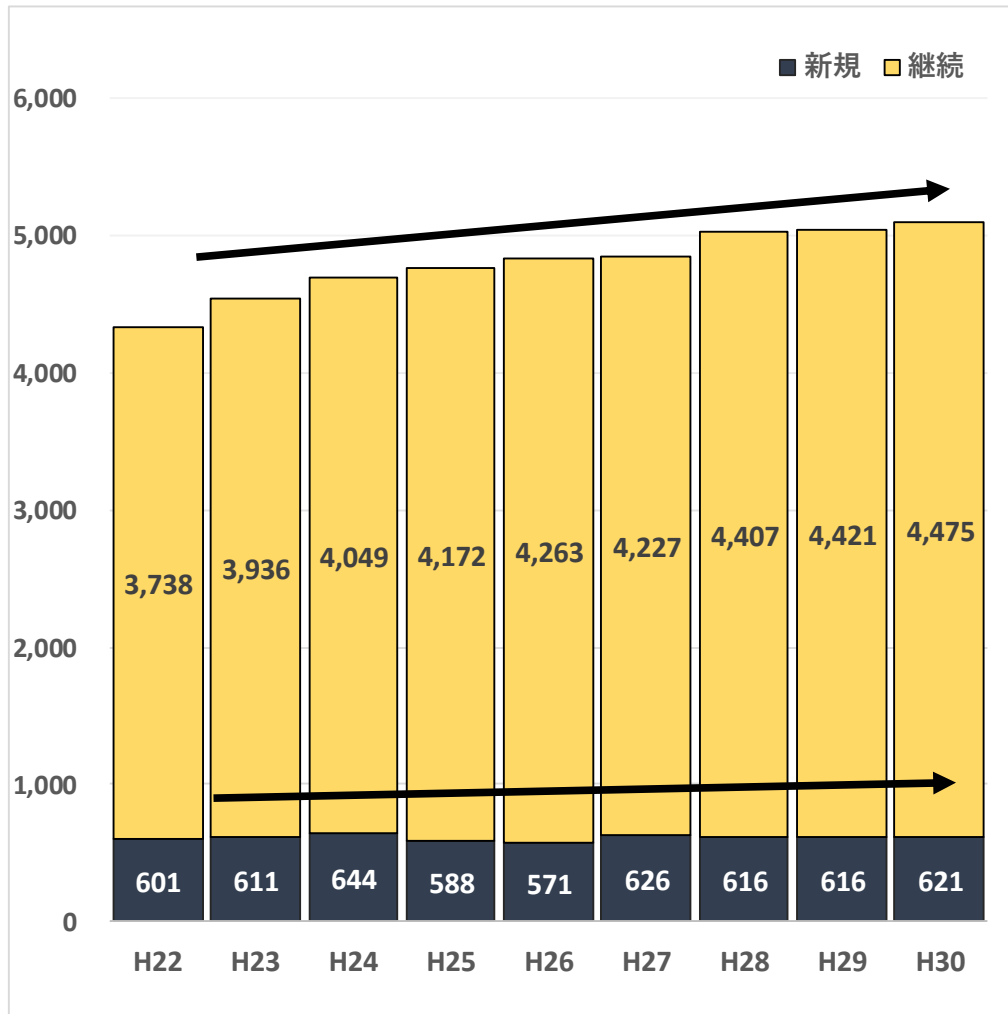
65歳未満死亡率 人口動態統計（H29）
男性 10.7% 42位 女性 6.1% 21位

健康寿命の延伸

人口動態統計特殊報告（H28）、わが国の慢性透析療法の現状（H29）

透析患者数の推移等

岐阜県の透析導入者の推移



(我が国の慢性透析療法の現況)

特定健診の尿蛋白出現率 (単位：%)

(NDBオープンデータ,H28)

	(-)	(±)	(+)	(2+)	(3+)	再掲 ±以上	再掲 2+以上
全国	87.79	8.34	2.86	0.77	0.24	12.21	1.01
岐阜県	87.37	8.55	3.07	0.74	0.26	12.63	1.00
順位	28位	21位	17位	30位	13位	20位	27位

受療率 全国順位 (単位：位)

(H29)

	腎不全	虚血性心 疾患	脳血管疾 患	高血圧性 疾患	糖尿病
入院	40位	16位	43位	39位	42位
入院外	16位	3位	36位	16位	8位

(患者調査)

新規透析導入者の糖尿病性腎症の占める割合

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
新規	601	611	644	588	571	626	616	616	621
糖尿病性 腎症	275	282	249	233	228	271	261	252	256
割合	45.8%	46.2%	38.7%	39.6%	39.9%	43.3%	42.4%	40.9%	41.2%

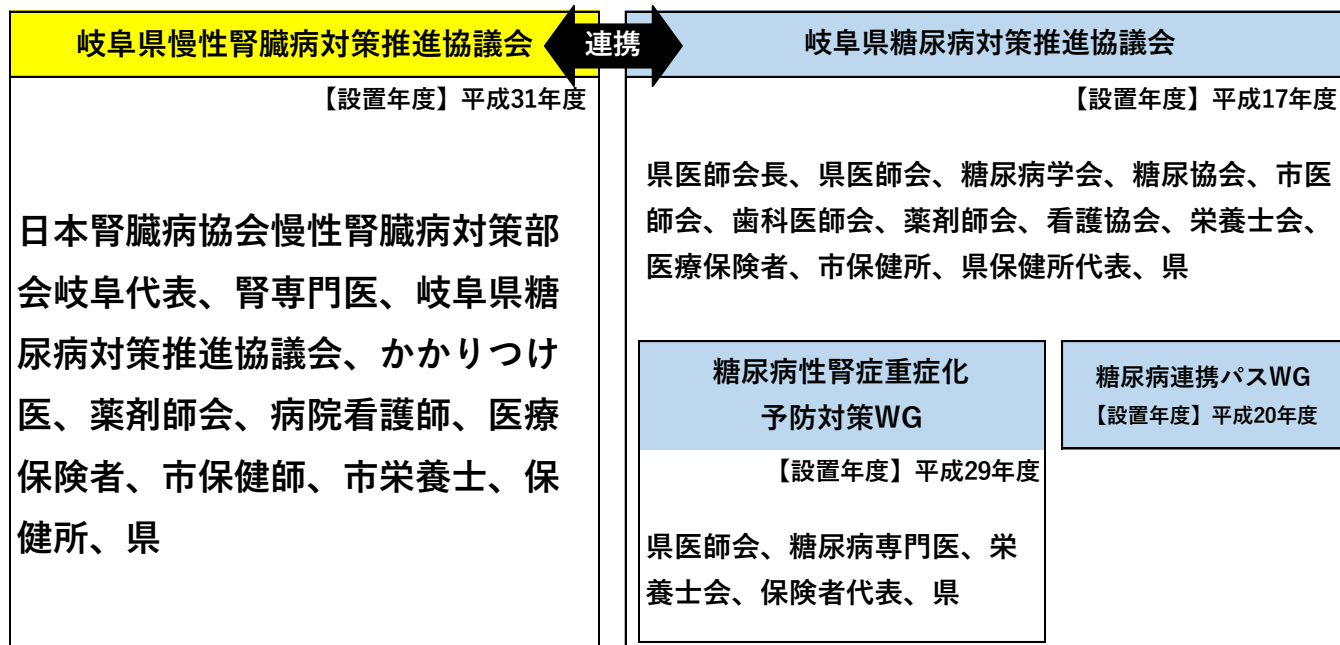
(我が国の慢性透析療法の現況)

CKD対策に係る会議体について

岐阜県慢性腎臓病対策推進協議会の目的

自覚症状の乏しい慢性腎臓病（以下、「CKD」という。）を健康診査で早期に発見し、良質で適切な治療を早期から実施・継続することにより、CKD重症化予防の徹底とともに、CKD患者（透析患者を含む）のQOLの維持向上を図る。

組織図



協議内容

- 医療保険者のCKD対策の取組状況の共有と体制構築に関すること
- 特定健診を機会とした保健指導及び受診勧奨の実施に関すること
※県糖尿病性腎症重症化予防プログラムとの連携
- かかりつけ医と腎臓専門医との連携の仕組みづくりに関すること

CKD対策に係る取組

※R1年度は協議会で岐阜県におけるCKD対策について他職種で協議し、現状と課題を整理し、R2年度の方針を決定した

1) 新規透析導入者予防の取組み～地域における医療提供体制の構築～

- ・各医療保険者のCKD対策の取組状況の把握
 - ・先進地域（市町村）の取組み成果及び課題把握
- ⇒実態の把握により、それぞれの職種に期待される役割の確認につながった

(各医療保険者のeGFR算出状況)

保険者名	団体数	eGFRの算出		eGFRや尿蛋白を踏まえた保健指導の実施	
		算出人数	割合	実施人数	割合
市町村国保	42	42	100%	42	100%
市町村国保以外	19	(※) 9	47.4%	6	31.6%

(※) 一部実施を含む

2) 診療水準の向上

- ・岐阜県CKD医療連携マニュアル及び岐阜県CKD医療連携パスの改定に向けた検討
 - ・かかりつけ医から腎臓専門医・糖尿病専門医への紹介基準の周知
- ⇒専門医の少なさ、地理的な条件など岐阜県の特徴を踏まえた医療体制の構築についての機運が高まった

(県民向けの啓発記事)

3) 人材育成

- ・日本腎臓病協会の発行「生活習慣病からの新規透析導入患者の減少に向けた提言」の印刷製本し、市町村・地域医師会への配布のほか、R2年度の研修教材として活用

4) 県民への普及啓発

- ・世界腎臓デーに合わせた新聞広告での周知

管下の市町村におけるCKD対策の取組例

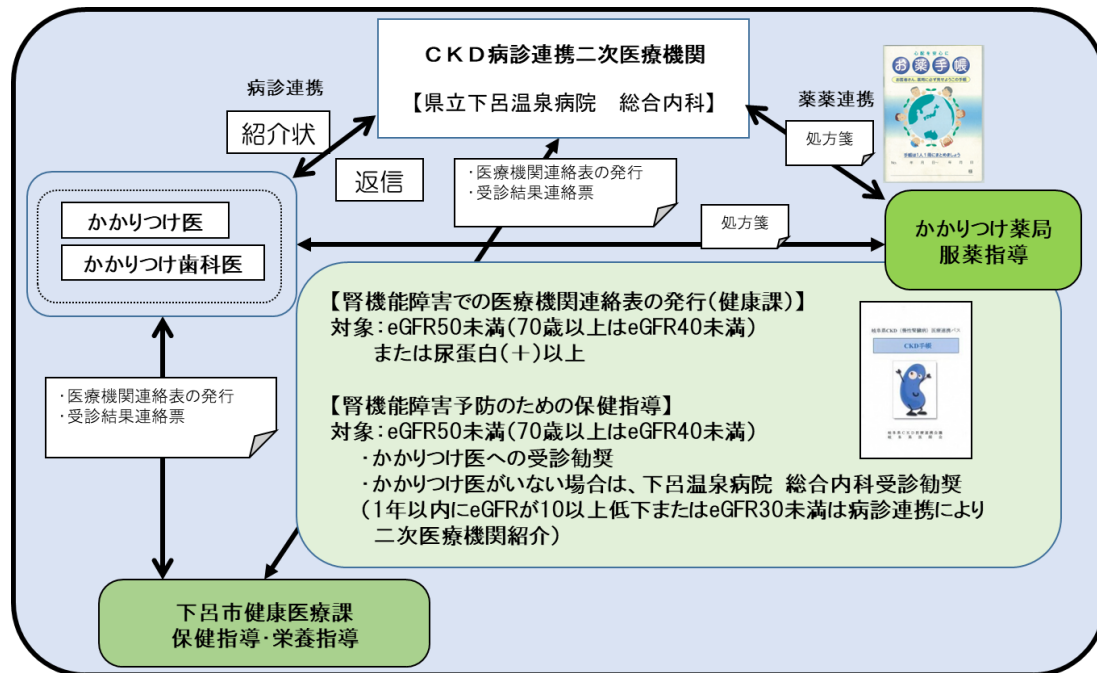
1) 糖尿病性腎症重症化予防に関する取組み

- ・全ての市町村が岐阜県糖尿病性腎症重症化予防プログラムを実施
- ・2次医療圏ごとに連携会議を開催し、実態の共有、次年度に向けた事業の進め方、協力要請、役割の認識を行っている。

[検討メンバー] 地域医師会糖尿病担当理事、かかりつけ医、市町村（保健衛生担当課・国保担当課）、保健所、県担当課、糖尿病対策推進協議会代表者

2) 糖尿病を含めた腎疾患対策に関する取組み（先進地区：下呂市）

（健診事後フォロー体制）



ライフステージに応じたCKD対策の推進

- * 市民の脳、心臓、腎臓を守る生活習慣病対策
- * 市糖尿病性腎症重症化予防プログラムの取組み

↓
予防可能な腎疾患を早期に発見し医療との連携による腎症予防

